

## 2 動物意匠のある土器について

今回の調査では、動物意匠の付いた北筒Ⅲ式土器がN-51・52区Ⅱ層中から出土した（図IV-3・6）。ここでは道内における縄文時代～続縄文時代の動物意匠付土器の類例から、本例の位置付けを考えてみたい。なお、類例に関しては宇田川洋の研究（宇田川 1989）を基本とし、さらに近年出土した資料を追加した。また、実測図のないものは今回扱っていない。

現在北海道内において、動物意匠付土器は65例確認されている（図VI-2）。道東地域5例、道央地域13例、道南地域47例で、道南地域が7割以上を占める。時期別では縄文時代19例、縄文時代晚期～続縄文時代1例、続縄文時代45例と続縄文時代に多く見られる。

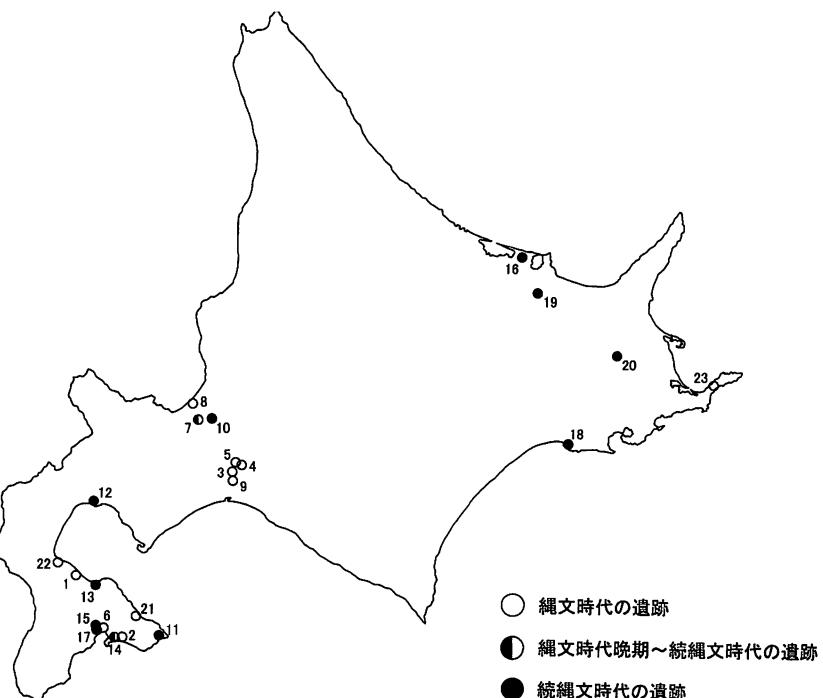
時期ごとについてみると、最も古い例は縄文時代中期、八雲町栄浜1遺跡で円筒土器上層a式土器の口唇部突起にクマと考えられる意匠が付けられた土器が出土している（1）。また、南茅部町臼尻B遺跡で中の平Ⅲ式土器にシカと推定される意匠を描いた例（60）がある。縄文時代後期前葉ではと函館市石倉貝塚で十腰内I式のクマを意匠した突起を有する土器（2）、シカ？と考えられる動物意匠が描かれた絵画土器（60）が出土している。後期中葉ホッケマ式では千歳市美々4遺跡で2組のヘビ？が沈線で描かれた絵画土器（58）が出土している。後期後葉の堂林～御殿山式にかけては比較的資料が多い。堂林式では千歳市キウス4遺跡出土の、クマを意匠とした香炉形土器先端部と考えられる土器片（5・6）と、注口土器の破片（4）がある。千歳市ユカンボシC15遺跡でも同様の例があり、ここでは上下顎の部分が出土している（7・8）。御殿山式では千歳市美々4遺跡でクマを意匠した土器の突起（3）、フクロウを意匠した貼り付けを有する土器（62）や意匠動物不明の土器の突起（59）が出土している。縄文時代晚期大洞式C<sub>2</sub>式では、石狩市シビシウス遺跡のクマを意匠したと考えられる把手状の突起を有する鉢（12）、函館市西桔梗E<sub>1</sub>遺跡で報告者がウミガメとしている土器の把手が出土している（63）。他にも大洞式のものとして、上磯町茂辺地出土のクマを意匠した土器の把手が挙げられる（9・10）。縄文時代晚期～続縄文時代では、札幌市H-37遺跡で、口唇上にクマと考えられる動物意匠の突起が付く鉢形土器（11）が出土している。続縄文時代前半期の道南地域例は全て恵山式で、全時期を通じて最も資料が豊富に見られる。上磯町茂別遺跡ではクマを意匠した突起が、完形の鉢1個体を含めて28例出土している（27～54）。他にも苫小牧市タブコブ遺跡（13）、江別市元江別1遺跡（14）、恵山町恵山貝塚（15～18）、豊浦町小幌洞窟遺跡（19・20）、森町尾白内貝塚（21）、函館市西桔梗B<sub>1</sub>遺跡（22・23）、上磯町下添山遺跡（24・25）からクマを意匠したと考えられる突起、把手が出土している。道東地域の興津式では、幣舞遺跡出土のカエルと考えられる動物意匠の貼付文が、口縁部に施された深鉢がある（55）。福住遺跡（56）、計根別遺跡（57）でも同様の資料が出土している。後北C<sub>1</sub>式においては、常呂町岐阜第二遺跡出土のクマを意匠とした突起を有する完形の深鉢がある。

以上各時期の出土例をみたが、動物意匠のある土器は縄文時代中期になって現れ、後期にはクマ、フクロウ、ヘビ等の意匠が現れる等、意匠の多様性が見られる。晚期には土器の把手にクマを意匠するものが見られる。続縄文時代前半期は道央～道南ではクマを、道東ではカエルを意匠する土器が分布し、後北C<sub>1</sub>式より後には認められないのが現状である。

穂香豊穴群出土の動物意匠付土器は、道内でも古い時期に属し、現状では道東地域で最も古い資料として位置付けられる。土器の特徴としては動物意匠付きの突起が4ヶ所あり、4ヶ所それぞれが作り分けられている点が挙げられる。意匠動物は、1ヶ所はクマと考えられるが、他の3ヶ所は他の動物の可能性もある。道東地域で縄文時代後期には動物意匠付土器が見られ、これが前後の時代へつながっていく可能性が出てきたことが現状として挙げられる。

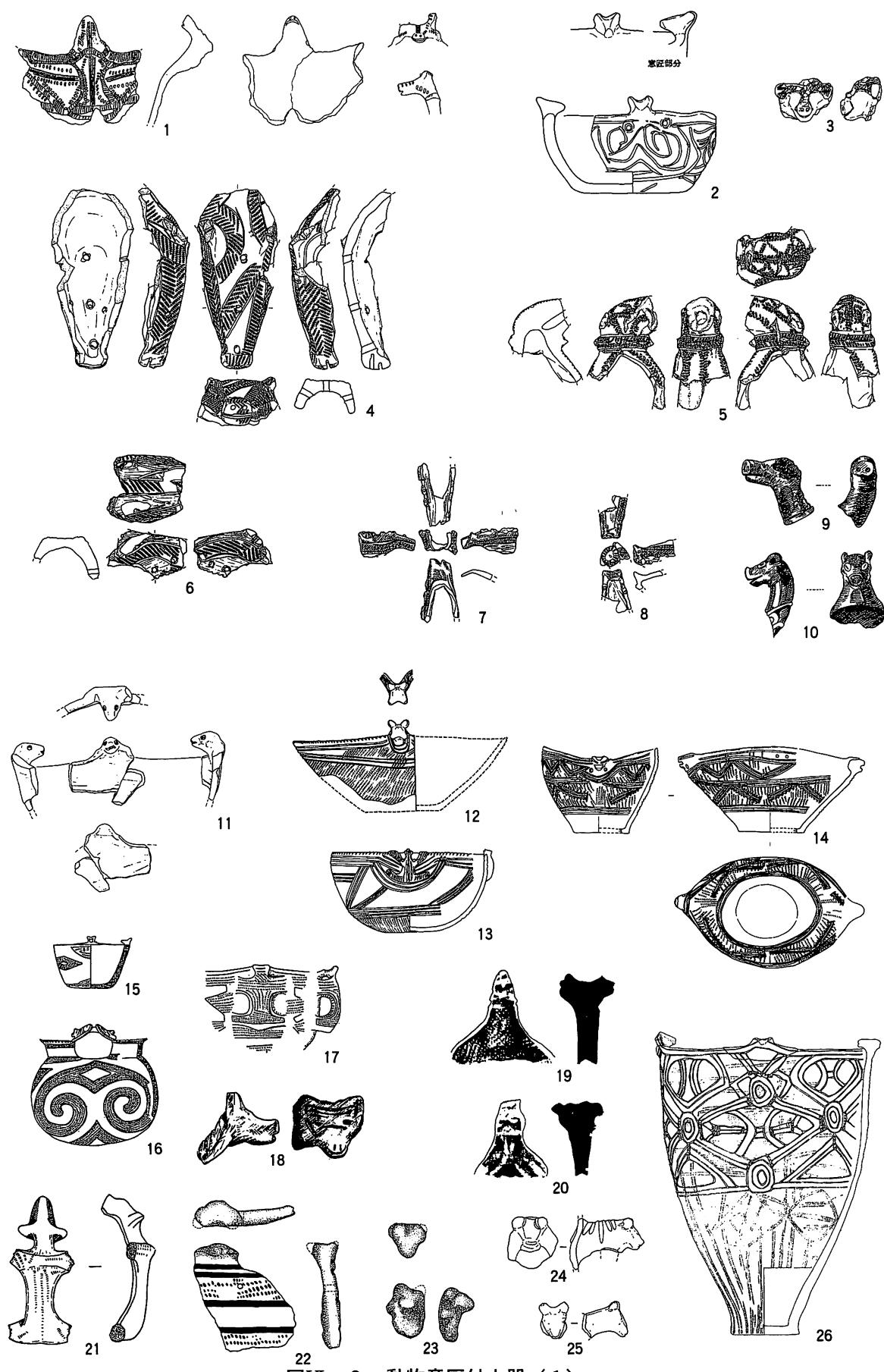
（広田良成）

穂香堅穴群

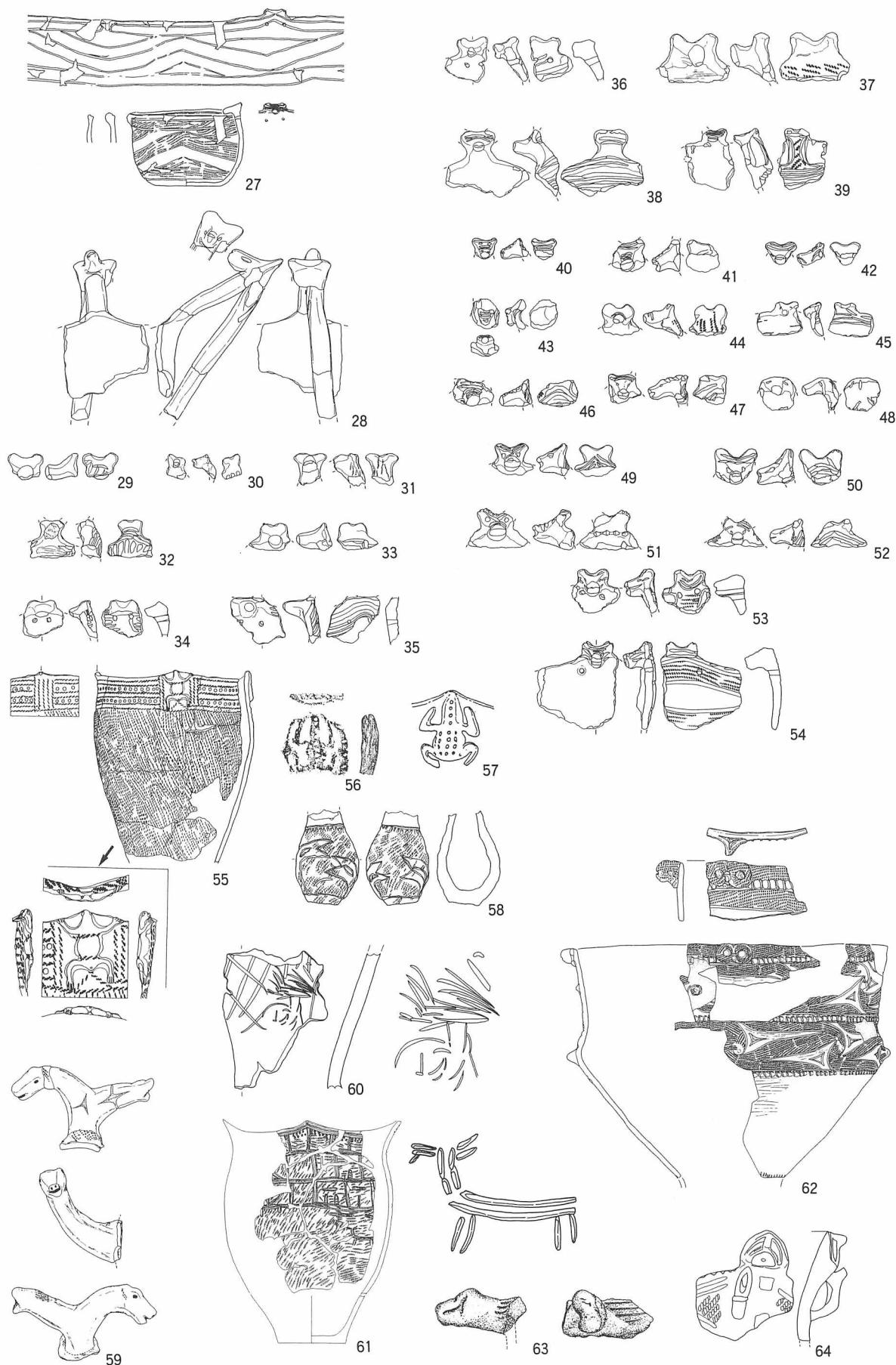


地図No.	図No.	遺跡名	市町村	出土地点	時期	種類	引用文献
1	1	斧浜1	八雲町	包含層	縄文時代中期円筒土器上層a式	クマ	柴田信一 1995
2	2	石倉貝塚	函館市	盛土遺構	縄文時代後期十腰内I式	クマ	田原良信ほか 1999
3	3	美々4	千歳市	包含層	縄文時代後期御殿山式	クマ	(財)北海道埋蔵文化財センター 1997
4	4	キウ24	千歳市	盛土遺構	縄文時代後期當株式	クマ	(財)北海道埋蔵文化財センター 2001b
5	5	キウ24	千歳市	盛土遺構	縄文時代後期當株式	クマ	(財)北海道埋蔵文化財センター 2001b
6	6	キウ24	千歳市	包含層	縄文時代後期當株式	クマ	(財)北海道埋蔵文化財センター 2001a
5	7	ユカンボンC15	千歳市	包含層	縄文時代後期當株式	クマ・イソジ?	(財)北海道埋蔵文化財センター 1999
8	8	ユカンボンC15	千歳市	包含層	縄文時代後期當株式	クマ・イソジ?	(財)北海道埋蔵文化財センター 1999
6	9	茂辺地	上磯町	?	縄文時代晚期大洞式	クマ	名取武光 1936
10	10	茂辺地	上磯町	?	縄文時代晚期大洞式	クマ	名取武光 1936
7	11	H37	札幌市	第2号住居跡状遺構	縄文時代晚期-初頭	クマ	羽賀藏 1936
8	12	シビシウス	石狩市	第16号墓	縄文時代晚期大洞C2式	クマ?	石橋幸夫ほか 1979
9	13	タブコブ	苦小牧市	35号墳墓	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤一夫ほか 1984
10	14	元江別1	江別市	墓43	統繩文時代恵山式	クマ	高橋正勝編 1981
11	15	恵山貝塚	恵山町	?	統繩文時代恵山式	クマ	大場利夫、千代 肇 1966
16	16	恵山貝塚	恵山町	?	統繩文時代恵山式	クマ	大場利夫、千代 肇 1966
17	17	恵山貝塚	恵山町	?	統繩文時代恵山式	クマ	大場利夫、千代 肇 1966
18	18	恵山貝塚	恵山町	?	統繩文時代恵山式	クマ	尻内内町々史編纂委員会 1970
12	19	小幌洞窟	豊浦町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	北大解剖教室調査団 1963
20	20	小幌洞窟	豊浦町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	北大解剖教室調査団 1963
13	21	尾白貝塚	森町	墓壙	統繩文時代恵山式	クマ	鈴井和愛 1959
14	22	西桔梗B2	函館市	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	千代 肇 1974
23	23	西桔梗B2	函館市	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	千代 肇 1974
15	24	下添山	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	石附喜三男ほか 1982
25	25	下添山	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	石附喜三男ほか 1982
16	26	岐阜第二	常呂町	ビト28	統繩文時代後K1式	クマ	藤本 雄ほか 1982
17	27	茂別	上磯町	X-281土壙墓)	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
28	28	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
29	29	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
30	30	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
31	31	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
32	32	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
33	33	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
34	34	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
35	35	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
36	36	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
37	37	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
38	38	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
39	39	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
40	40	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
41	41	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
42	42	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
43	43	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
44	44	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
45	45	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
46	46	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
47	47	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
48	48	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
49	49	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
50	50	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
51	51	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
52	52	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
53	53	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
54	54	茂別	上磯町	包含層	統繩文時代恵山式	クマ	佐藤和雄ほか 1998
18	55	幣舞	釧路市	包含層	統繩文時代興津式	カエル	石川 朗 1996
19	56	福住	美幌町	堅六住跡	統繩文時代興津式	カエル	大沼忠春 1964
20	57	計根別	中標津町	表塚	統繩文時代興津式	カエル?	松下 耳 1962
3	58	美々4	千歳市	包含層	縄文時代後期ホケマ式?	ヘビ	(財)北海道埋蔵文化財センター 1997
59	59	美々4	千歳市	包含層	縄文時代後期御殿山式	?	(財)北海道埋蔵文化財センター 1981
2	60	石倉貝塚	函館市	盛土遺構	縄文時代後期十腰内I式	シカ?	田原良信ほか 1999
21	61	白房B	南茅部町	294号住跡	縄文時代中期の平皿式	シカ	小笠原 志久 1987
3	62	美々4	千歳市	周場墓X-2-6	縄文時代後期御殿山式	フクロウ	(財)北海道埋蔵文化財センター 1997
14	63	西桔梗E1	函館市	包含層	縄文時代晚期大洞C2式併行	ウミガメ?	千代 肇 1974
22	64	コタン温泉	八雲町	包含層	縄文時代中期サヘバツVII式	人面?	三浦幸一ほか 1992
23	65	穂香堅穴群	根室市	包含層	縄文時代後期北簡皿式	クマ?	

図VI-2 北海道出土の動物意匠付土器の分布及び一覧



図VI-3 動物意匠付土器 (1)



図VI-4 動物意匠付土器 (2)